

お知らせ【報告者の公募・推薦】2024年5月1日

2024年度日本租税理論学会研究大会シンポジウム等での報告者募集

日本租税理論学会
研究大会企画運営委員会
委員長 望月 爾

日本租税理論学会(以下「本学会」)研究大会企画運営委員会(以下「企画運営委員会」)は、2024年度(第36回)研究大会シンポジウム統一テーマ等での報告者を募集します。

本学会2023年度学会理事会・総会で決定しました開催日程および開催場所ならびにシンポジウム統一テーマおよび報告テーマ想定例、募集期間、募集要件などは、次のとおりです。

記

■開催日時／場所：

2024年10月19日(土)・20日(日)【ハイブリッド開催(対面+オンライン)】

東京都千代田区神田

日本大学法学部三崎町キャンパス10号館

(参照:キャンパスマップ <https://www.law.nihon-u.ac.jp/access/>)

開催校幹事(阿部徳幸理事・鳥飼貴司理事)

◎第36回研究大会シンポジウム統一テーマ：

内外の消費税／インボイス制度の現状と課題

【参考】《報告テーマ想定例》

- ・デジタル空間にまで拡大する世界の消費課税の現状と課題[財政学/税法学]
- ・EU/イギリスのインボイス制度の現状と課題[財政学/税法学]
- ・EU/イギリスの「インボイス又は資料」要件に基づく「仕入税額控除権」の展開[財政学/税法学/税務会計]
- ・ペポル式デジタル(電子)インボイスの現状と課題[財政学/税法学/税務会計]
- ・カナダのインボイス制度の現状と課題[財政学/税法学/税務会計]
- ・オーストラリアのインボイス制度の現状と課題[財政学/税法学/税務会計]
- ・韓国のインボイス制度の現状と課題[財政学/税法学/税務会計]

- なぜ連邦消費税(VAT/GST)導入なしのアメリカは世界経済で独り勝ちなのか[財政学]
- 生活者保護・インフレ対策としての消費税減税の世界の動向[財政学]
- インボイス制度と税務会計上の諸課題[税務会計]
- 事例分析:零細事業者の事業者登録の現状と課題[税法学/税務会計]
- 事例分析:各種非営利・公益法人等の事業者登録の現状と課題[税法学/税務会計]
- 事例分析:農業・漁業・林業などの事業者登録の現状と課題[税法学/税務会計]
- 事例分析:各種士業の事業者登録の現状と課題[税法学/税務会計]
- 事例分析:国外事業者の事業者登録の現状と課題[税法学/税務会計]
- 事例分析:ギグワーカー/一人親方の事業者登録の現状と課題[税法学/税務会計]
- 事例分析:ブロガー/アフィリエイター等の事業者登録との現状と課題[税法学/税務会計]
- その他

(報告時間は、1人、35分～40分程度。質疑は「討論」の形で別途時間をとります。)

◎一般報告(自由論題)の募集

研究大会シンポジウム統一テーマとは別途、自由論題での一般報告者を募集します。多くの会員から活発な報告が行われることを期待しております。報告を希望する個人ないしグループは、学会事務局宛てにメールで申し込んで下さい。

◎応募(推薦)期間および宛先

●報告募集(推薦)期間

2024年5月13日(月)～6月30日(日)PM5:00

●あて先

info@j-ast.com 研究大会企画運営委員会

会員の方々は、自由にご応募ください。また、身近な会員、非会員で、報告が可能な方がいれば、ご推薦いただければ幸いです。推薦いただいた方には、企画運営委員会から、事務局を通じてご連絡いたします。

◎応募・推薦方法、採否の通知

シンポまたは一般報告への応募または推薦にあたっては、フォーマットAまたはBを使って申し込んでください。

- フォーマットA 報告申込書 ([ここをクリックしてください。](#))
- フォーマットB 報告者の推薦書 ([ここをクリックしてください。](#))

Wordフォームに必要事項を記入したうえで、info@j-ast.com 企画運営委員会あてに、WordフォームまたはPDF処理し、メールに添付して送付してください。

同一のテーマに複数の応募がある場合も考えられます。採否については、応募期間終了後できるだけ速やかに企画運営委員会に諮り決定したうえで、応募者本人等にメールでお知らせします。なお、企画運営委員会が必要と判断した場合には、応募者に追加資料の提出をお願いすることもありますので、予めご了承ください。

◎報告レジメの提出、HPへの掲載

ご報告をお願いすることになった方には、その後、8月31日までに「報告レジメ」を提出していただくこととなります。報告レジメは、本学会のHPに掲載することになっております。

◎予備報告会(プレビュー)の開催

また、研究大会の開催に先立ち、オンラインの予備報告会(いわゆる「プレビュー」)を開催します。プレビューは、報告をお願いすることになった方々の間での報告内容の重複調整のための意見交換や報告内容のブラッシュアップがねらいです。参加は任意ですが、是非とも参加いただければと思います。

ご質問がある場合には、info@j-ast.com 学会事務局あてにお願いします。